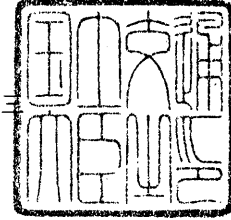


認定書

国住指第3125号
平成 19年 4月 4日

吉野石膏株式会社
代表取締役社長 須藤 永一郎 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第二号(間仕切壁(非耐力壁):1時間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

FP060NP-0075

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

片面・両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板重張/軽量鉄骨下地間仕切壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

別添

1. 構造名

片面・両面薬剤処理ボード用原紙張／せっこう板重張／軽量鉄骨下地間仕切壁

2. 寸法

壁高及び壁幅については、構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする。

3. 材料構成等

項	目	製 品 仕 様 等
被覆材	両面薬剤処理ボード用原紙張／せっこう板(上張り材及び下張り材)	規格：不燃材料認定番号 NM-1498、JIS A 6901 形状：平板 表面の形状：平滑 端部の形状：スクエアー、テーパー、ベベル 厚さ(mm)：21 ± 0.5 かさ比重：0.75 ± 0.07 大きさ(mm)：最小 606 × 1,820、最大 910 × 4,500
下地材	上部ランナー	材料名及び規格 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ・ 電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313) ・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) ・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) ・ 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) 等 形状・寸法(mm) □-45 ~ 500 × 40 ~ 75、厚さ 0.5 以上
	下部ランナー	材料名及び規格 材料名及び規格は前記の上部ランナーに同じ。 形状・寸法(mm) □-45 ~ 500 × 40 ~ 75、厚さ 0.5 以上 └-45 ~ 500 × 40 ~ 75、厚さ 0.8 以上 └形ランナーを用いる場合は、間柱(スタッド)の下部をタッピンねじで留め付ける。
	間柱(スタッド)	材料名及び規格 材料名及び規格は前記の上部ランナーに同じ。 形状・寸法(mm) □-45 ~ 500 × 45 ~ 75 × 8 ~ 32、厚さ 0.5 以上 □-45 ~ 500 × 40 ~ 50、厚さ 0.5 以上 取付け間隔(mm) 606 以下
	振れ止め	材料名及び規格 材料名及び規格は前記の上部ランナーに同じ。 形状・寸法(mm) □-19 ~ 25 × 10、厚さ 0.9 以上 取付け間隔(mm) 1,200 以下(高さ方向)

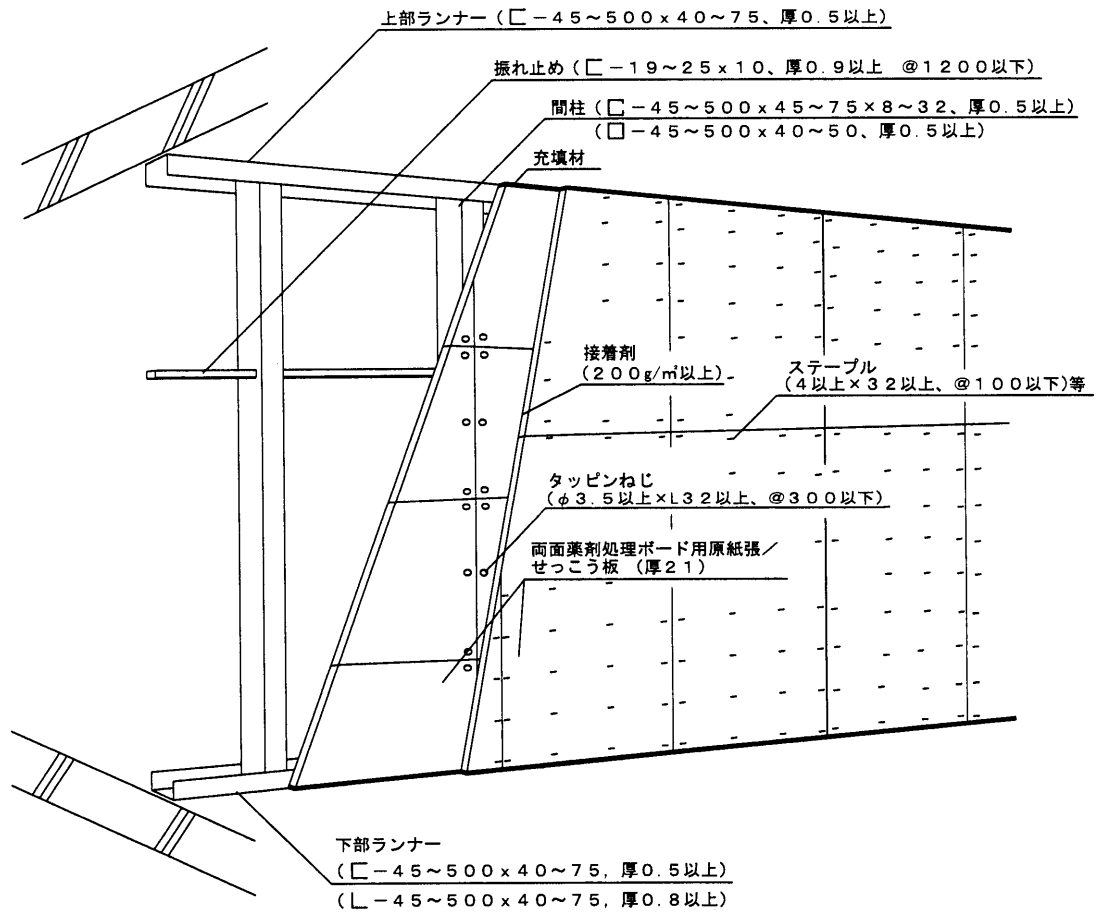
項	目	製品仕様等
副構成材料	敷目板(必要に応じて取付ける。)	<p>種類及び寸法</p> <p>せっこう板、せっこうボード、強化せっこうボード、繊維混入けい酸カルシウム板、グラスウール保温板またはロックウール保温板(保温板の密度はいずれも 10 kg/m³ 以上)</p> <p>寸法(mm)：厚さ 4～25、幅 45 以上</p>
	タッピンねじ、ステープル、接着剤等	<p>下張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板取付け用</p> <p>タッピンねじ</p> <p>寸法(mm)：φ 3.5 以上× L32 以上</p> <p>留め付け間隔(mm)：300 以下</p> <p>上張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板取付け用</p> <p>①ステープル</p> <p>寸法(mm)：幅 4 以上、長さ 32 以上</p> <p>留め付け間隔(mm)：100 以下</p> <p>②接着剤</p> <p>種類：せっこう系、炭酸カルシウム系</p> <p>塗布量(g/m²)：200 以上</p> <p>③タッピンねじ</p> <p>寸法(mm)：φ 3.5 以上× L52 以上</p> <p>留め付け間隔(mm)：600 以下</p> <p>取付け方法</p> <p>上記①と②で下張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板に取付け、必要に応じて、③を併用して、間柱(スタッド)に取付ける。</p> <p>間柱(スタッド)のL形下部ランナーへの取付け用</p> <p>タッピンねじ</p> <p>寸法(mm)：φ 4 以上× L13 以上</p> <p>敷目板仮止め用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッピンねじ(φ 2.8 以上× L13 以上) ・粘着テープ又は両面粘着テープ <p>粘着剤の種類：アクリル樹脂系、ポリアミド系、天然ゴム系、合成ゴム系</p> <p>寸法：厚さ 3 以下、幅 75 以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接着剤 <p>種類：酢酸ビニル樹脂系、アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、エポキシ樹脂系、ポリアミド系、ポリサルファイド系、シリコン系、合成ゴム系、せっこう系、炭酸カルシウム系</p> <p>塗布量(g/m²)：200 以下</p>
	上張り材の目地充填材	<p>種類</p> <p>ウレタン樹脂系、シリコン系、せっこう系、炭酸カルシウム系</p> <p>塗布量：10g/m 以上</p>

項	目	製品仕様等
間柱(スタッド)及び被覆材の取付け方法	間柱(スタッド)	間柱(スタッド)を 606 mm 以下の間隔で上部及び下部ランナーに差し込んで固定する。なお、下部ランナーに L 形ランナーを用いる場合は、間柱(スタッド)の下部を ϕ 4 mm 以上 \times L13 mm 以上のタッピンねじで L 形ランナーに取付ける。
	振れ止め	高さ 1,200 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)の側面の切欠き部に差し込んで固定する。
	下張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板	下張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板(以下、下張りせっこう板という)を ϕ 3.5 mm 以上 \times L32 mm 以上のタッピンねじで 300 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。
	上張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板	上張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板(以下、上張りせっこう板という)は、接着剤(200g/m ² 以上)を併用して、幅 4 mm 以上、長さ 32 mm 以上のステーブルで 100 mm 以下の間隔で下張りせっこう板に留め付ける。必要に応じて、 ϕ 3.5 mm 以上 \times L52 mm 以上のタッピンねじで 600 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。上張りせっこう板の目地部は、充填材(10g/m ² 以上)で処理する。
壁端部(柱・はり等との取り合い部)の処理		<p>下張り被覆材または上張り被覆材のどちらか一方に、あるいはこの両者に目透かしを設ける場合は、それぞれの目透かし部に次の①から③のいずれかを充填する。目透かし幅は 10 mm 以下とする。</p> <p>①シーリング材 種類 アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、ポリサルファイド系、シリコーン系、酢酸ビニル樹脂系 充填量(g/m) 120 以上</p> <p>②ロックウール、ロックウール保温板 密度(kg/m³) 10 以上</p> <p>③せっこう系、炭酸カルシウム系無機質充填材 充填量(g/m) 120 以上</p>

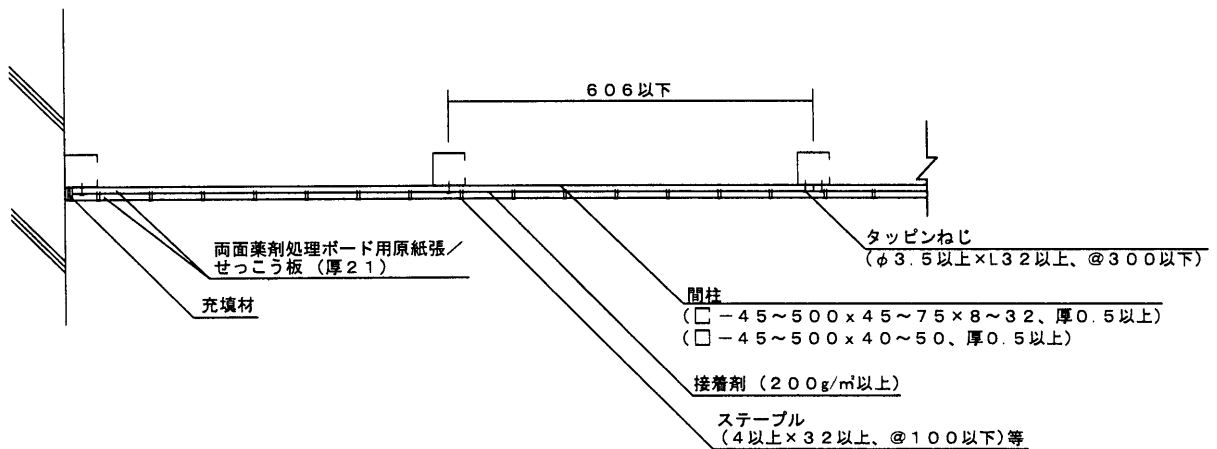
4. 構造説明図

(1) 透視図

(単位 : mm)



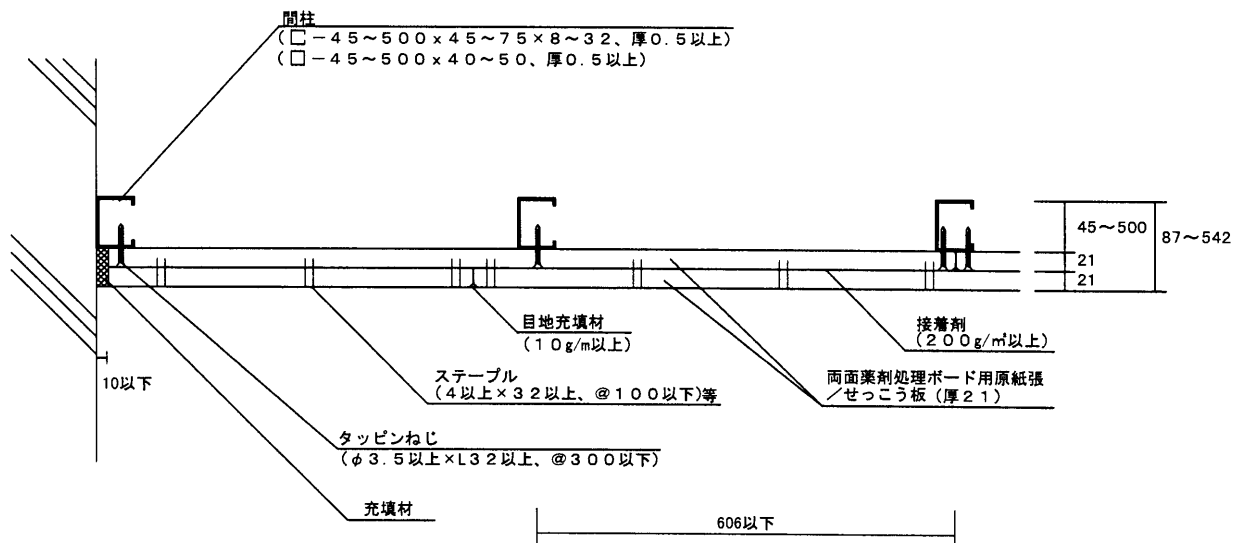
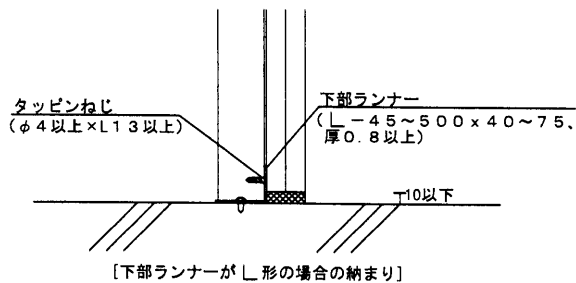
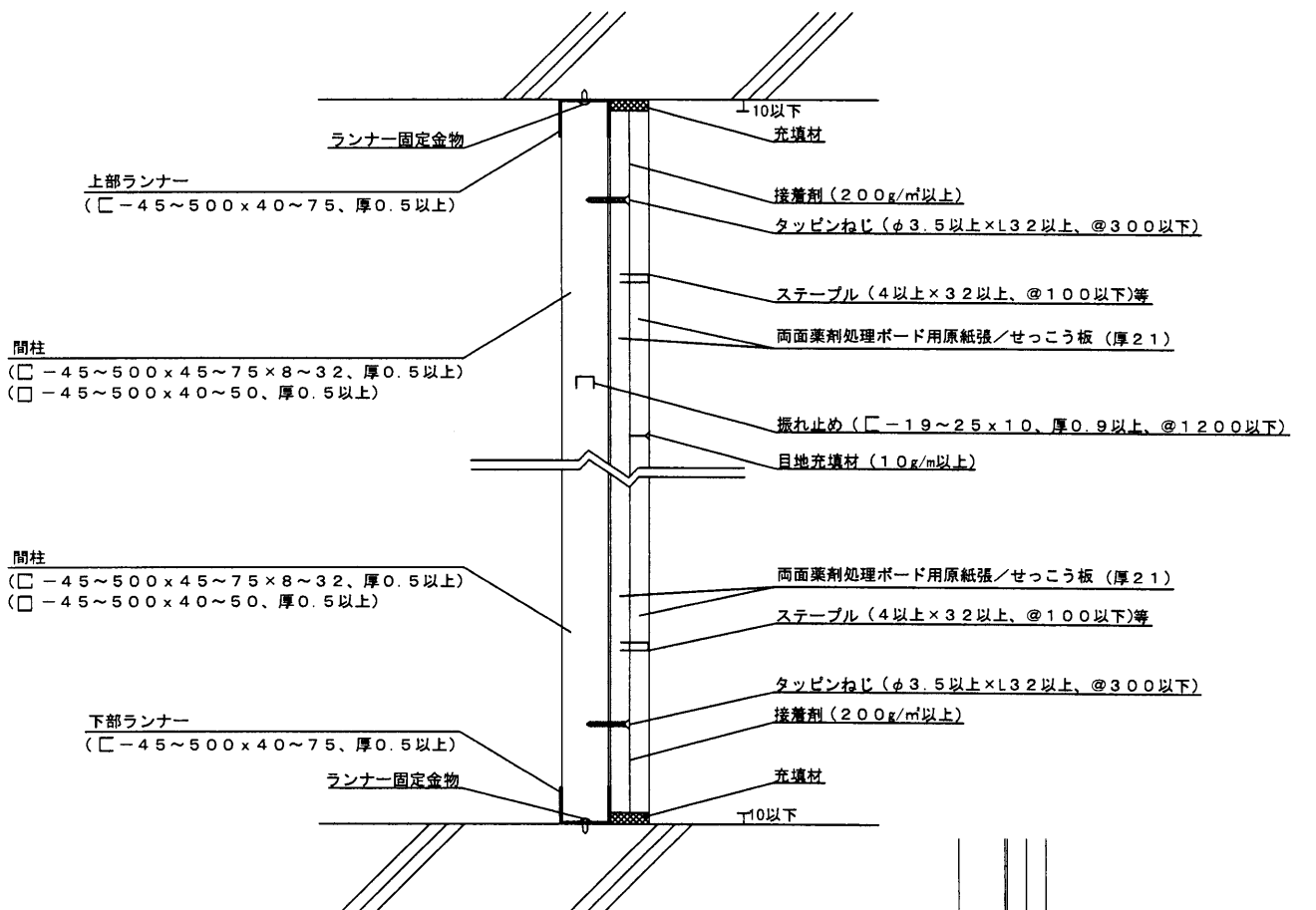
(2) 水平断面図



(3) 断面詳細図

①敷目板無し

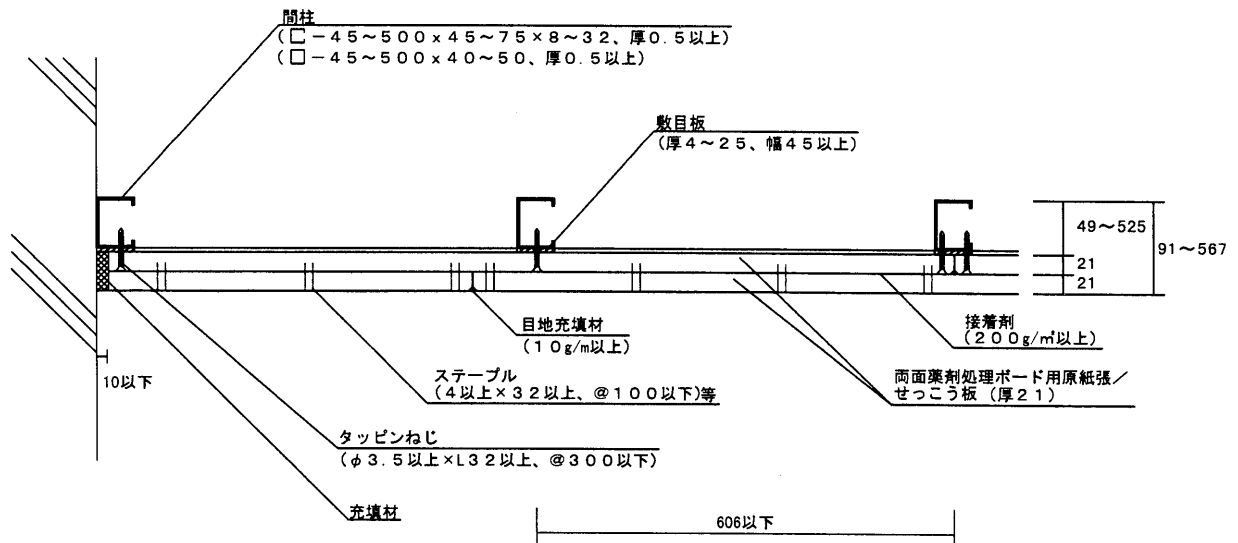
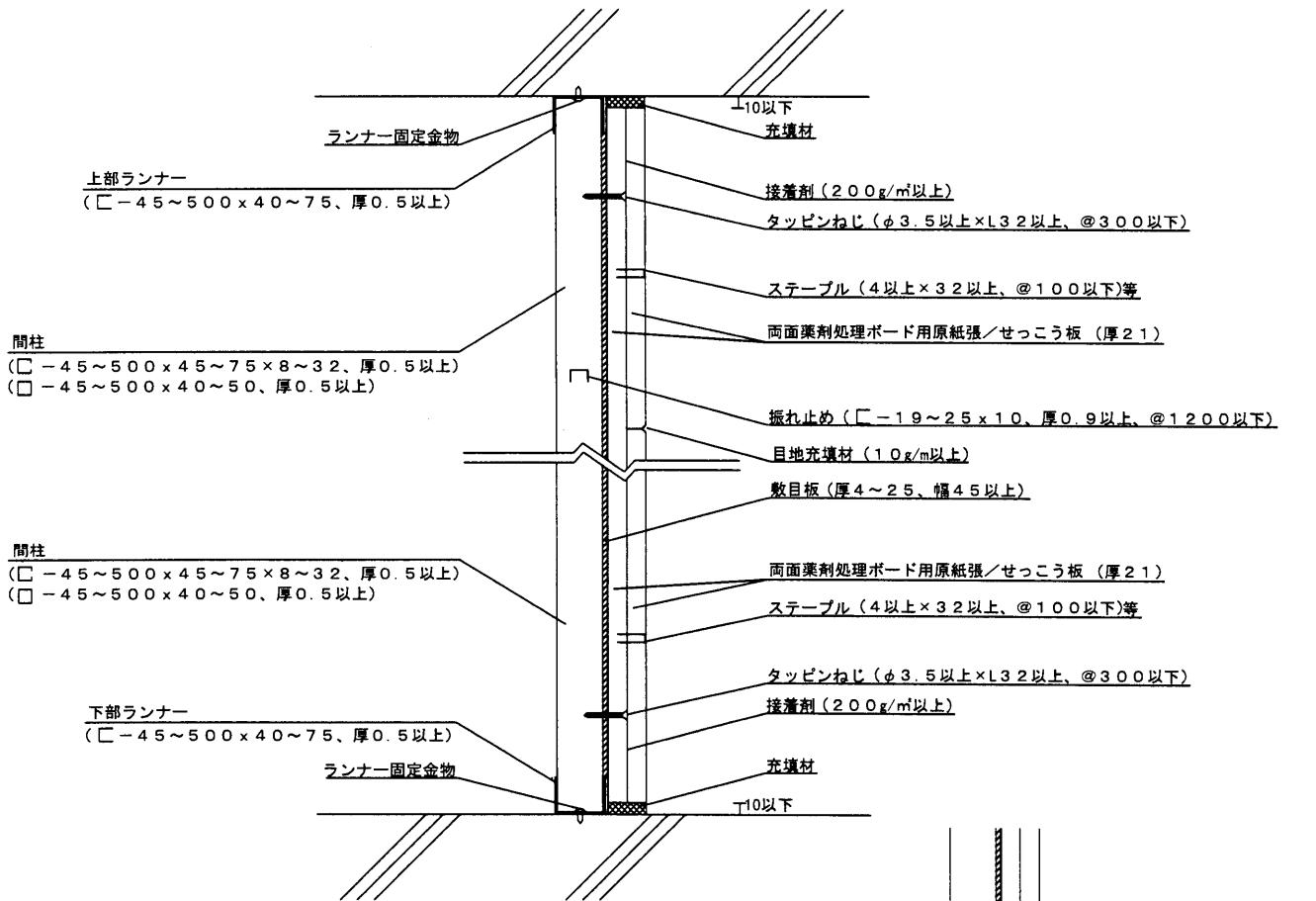
(単位 : mm)



(4) 断面詳細図

②敷目板有り

(単位: mm)



5. 施工方法

(1) 上部及び下部ランナーの取付け

上部及び下部ランナー(以下、上下ランナーという)を取付ける位置に墨出しを行う。上下ランナーを取付ける躯体がコンクリートの場合は、ランナー固定金物等にて、鋼製の場合には、ランナー受けピース等を介してタッピンねじ、溶接等にて、それぞれ 900 mm 以下の間隔で上下ランナーを躯体に取付ける。

(2) 間柱(スタッド)の取付け

間柱(スタッド)を予め現場の寸法に合わせて切断し、606 mm 以下の間隔で上下ランナーに差し込んで固定する。なお、下部ランナーに L 形ランナーを用いる場合は、間柱(スタッド)の下部を ϕ 4 mm 以上 \times L13 mm 以上のタッピンねじで L 形ランナーに取付ける。

(3) 振れ止めの取付け

振れ止めを予め現場の寸法に合わせて切断し、高さ 1,200 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)の側面の切欠き部に差し込んで固定する。

(4) 敷目板の取付け

必要に応じて、敷目板をタッピンねじ等で間柱(スタッド)に仮止めする。

(5) 下張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板の取付け

下張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板(以下、下張りせっこう板という)を予め現場の寸法に合わせて切断し、 ϕ 3.5 mm 以上 \times L32 mm 以上のタッピンねじで 300 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。

(6) 上張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板の取付け

上張り両面薬剤処理ボード用原紙張/せっこう板(以下、上張りせっこう板という)は、予め現場の寸法に合わせて切断し、その目地が下張りせっこう板の目地と重ならないように配置し、接着剤(200g/m²以上)を併用して、幅 4 mm 以上、長さ 32 mm 以上のステーブルで 100 mm 以下の間隔で下張りせっこう板に留め付ける。必要に応じて、 ϕ 3.5 mm 以上 \times L52 mm 以上のタッピンねじで 600 mm 以下の間隔で間柱(スタッド)に留め付ける。

上張りせっこう板の目地部は、充填材(10g/m以上)で処理する。

(7) 壁端部の処理

下張りまたは上張りせっこう板のどちらか一方に、あるいはこの両者に目透かしを設ける場合は、目透かし幅を 10 mm 以下とし、それぞれの目透かし部に充填材を隙間なく充填する。